

# 雪印種苗おすすめの 野菜品種紹介2019

## はじめに

弊社は1952年より野菜種子の販売を開始し、より生産性が高く、特産となるような高付加価値の品種を目指して開発を続けてきました。本稿では、最近販売を開始した品種や人気の高い品種を中心にご紹介いたします。

## 1. エダマメ

エダマメとは未熟な状態の大豆を指し、古くから夏野菜の代表として食されてきました。近年では日本食ブームに伴い、「EDAMAME」のフレーズで日本国外においても認知度が高まり注目されています。

弊社では様々なご要望にお応えできるよう、極早生品種から中晩生品種まで幅広いラインナップを取り揃えております。その中から、販売して30年以上

経過した今も全国各産地にてご愛顧いただいている「サヤムスメ (写真1)」をご紹介いたします。

関東平坦地の場合、種まき後85日前後で収穫できる中早生品種であり、莢は濃緑色で大きく、根張りが良く耐病性に優れています。ハウス・トンネル栽培に始まり、露地栽培そして抑制栽培（高冷地以南で、夏場に種をまき10-11月に収穫する）にも適しており、幅広い作型や地域でご利用いただけます。特に、抑制栽培では収穫時の昼夜の温度差が大きくなるため、甘く美味しいエダマメを作ることができます。この夏から試してみたいはいかがでしょうか。

## 2. スイートコーン

現在は多くの種苗メーカーで取り扱われている白色種ですが、国内販売の先駆けとなったのは弊社の「ピュアホワイト」でした。販売から長年経過した今も、直売所や土産店などでご好評いただいております。そしてこの度、「ピュアホワイトSP (写真2)」の販売を開始いたしました。「ピュアホワイト」は栽培状況によっては若干倒伏しやすく、穂にボリュームが出ないことがありますが、「ピュアホワイトSP」は比較的倒伏しにくく、果皮が軟らかくフルーティーな甘みがある品種です。白色種ではキセニア（黄色種の花粉の混入により黄色の実が混じる現象）を避けるため、他の黄色品種とは300m以上離して栽培するのがポイントです。

また、黄色種では「ミエルコーン」シリーズを展開しております。「ミエル (Miel)」とはフランス語で「ハチミツのような甘さ」を意味しており、食味を重視した品種をラインナップしております。今回は2品種をご紹介します。

一つ目は「ミエルコーン84 (写真3)」です。その名の通り、関東平坦地のマルチ・露地栽培の場合は種まき後84日程度で収穫できる早生種です。ハウス栽培やトンネル栽培では、穂の先端まで実が入らなかったり、先端がハスク（皮）から露出してしまったりすることが多いですが、「ミエルコーン84」は



写真1 サヤムスメ (販売30周年、濃緑で大莢)



写真2 ピュアホワイトSP (ボリュームと食味を兼ね備えた白色種)



写真3 ミエルコーン84 (甘みが強くジューシーな早生種)

ハスクの被りと締まりが良いため、このようなリスクが少なく生育が安定しています。また、早生種としては甘みがあり、食味に優れています。

もう一つは、関東平坦地で種まき後88～89日で



写真4 ミエルコーン89 (倒伏しにくい中生種)

収穫できる中生種「ミエルコーン89(写真4)」です。夏場のスイートコーン栽培は、台風や強風により倒伏してしまうことが多々あります。しかし「ミエルコーン89」は根張りに優れ倒伏しにくく、安定的に栽培できます。穂は比較的長めで大型となり、実の皮が軟らかすぎず収穫後のしわが出にくいいため、長距離輸送にも適しています。

これら2品種をご利用いただき、今後の生産向上に繋げていただければ幸いです。

### 3. ダイコン

ダイコンの旬といえば秋冬、おでんやふろふきなど美味しいダイコン料理は山ほどあります。今回



写真5 早生涼太 (食味に優れ栽培しやすい)



写真6 早生涼太の露地栽培

は、そんな旬の時期に収穫できる、食味に優れた栽培しやすい品種「早生涼太（写真5、6）」をご紹介します。

一般的に秋ダイコンといわれる作型は低温下での栽培となるため、伸長性や肥大性が求められますが、「早生涼太」は生育が旺盛であるため、秋から冬にかけての段々寒くなる時期でも太りが良好です。また、根形は尻づまりが良く、肌がきれいで横縞、割れが少ない品種です。さらに、肉質は柔らかく緻密で甘みがあり、サラダやおでんなどの煮物にも適しています。そんな「早生涼太」は、その美味しさと作りやすさから家庭菜園向けとしてもお勧めしている品種です。今秋の家庭菜園でお試しいたごき、食卓の一品として楽しんでみてはいかがでしょうか？

#### 4. コマツナ

近年、日本国内においてコマツナの栽培面積が増加しています。古くから東京周辺で栽培されてきたコマツナですが、柔らかさや、クセのない食味から料理の用途が広がり、高ビタミン、高ミネラルの緑黄色野菜として、全国的に周年にわたり栽培される品目となりました。



写真7 のりちゃん（収量性・作業性に優れた品種）

弊社では、春夏に種をまく「のりちゃん（写真7）」を販売しております。多収で葉色が良く、収穫が少し遅くなくても比較的品質を保つことができる品種です。コマツナは作業性を重視する野菜と言われておりますが。「のりちゃん」は、極立性で収穫時の葉のからまりがなく、葉柄はやや太めで折れにくいいため、作業をスムーズに行うことができます。また、高温時の栽培でも草姿のバランスが良く、株張りに優れています。一般地の露地栽培であれば、3月下旬～10月初旬の種まきが可能です。「のりちゃん」の特性を活かし、今後の栽培の一助になることを期待しております。

#### さいごに

弊社おすすめ品種を6品種ご紹介いたしました。今後もお客様のニーズをくみ取り、鋭意開発に努めて参りますので、気になる品種がありましたらお試しください。ただければ幸いです。

本稿でご紹介した品種の他にも、様々な商品を販売しております。詳しくは牧草と園芸別冊野菜特集号をご参考ください。